

# FTSE ドイツ国債 インデックス (国内投信用)

v1.5

# 目次

---

セクション 1 はじめに .....	3
セクション 2 運営・管理責任 .....	4
セクション 3 FTSE Russell インデックス ポリシー .....	5
セクション 4 計算前提と組入基準.....	7
付録 A 追加情報 .....	11

# セクション 1

## はじめに

### 1. はじめに

#### 1.1 FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）

1.1.1 本書は、FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）の運営および算出に関わる基本ルールを説明したものです。これらの基本ルールのコピーは FTSE International Limited (FTSE) から入手できます。

1.1.2 FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）（“インデックス”）は、FTSE 世界国債インデックス－国内投信用(WGBI-JIT)内の ドイツ国債のパフォーマンスを測定します。

1.1.3 このインデックスは、日本の投資信託によるパフォーマンス評価のベンチマークとして機能するように設計されています。計算の前提は、社団法人投資信託協会の評価方式に基づいています。

#### 1.2 FTSE Russell

FTSE Russell は FTSE International Limited、Frank Russell Company、FTSE Global Debt Capital Markets Limited (およびその子会社 FTSE Global Debt Capital Markets Inc.) ならびに FTSE Fixed income LLC、FTSE (Beijing) Consulting Limited の商標名です。

#### 1.3 インデックスの目的と用途

1.3.1 FTSE Russell は FTSE International Limited、Frank Russell Company、FTSE Global Debt Capital Markets Limited (およびその子会社 FTSE Global Debt Capital Markets Inc.) ならびに FTSE Fixed income LLC、FTSE (Beijing) Consulting Limited の商標名です。

1.3.2 本インデックスに追随する運用を行うユーザー、または本インデックスに追随する商品を購入するユーザーは、自己資金、あるいはクライアントの資金で投資をする前に、当インデックスのルールに沿ったメソッドロジーの価値を評価し、独立した立場にある者の助言を受けてください。FTSE Russell または FTSE Russell Policy Advisory Board（または、これらの基本原則の作成および発行に関係するすべての人）のメンバーは、以下による結果について、個人の被った損失、損害、請求、費用について一切の責任を負いません。

- 当基本ルールに対する依存、および/もしくは
- 当基本原則の誤りまたは不正確、および/もしくは
- 当基本原則に記載されている方針または手続きの不適用、誤用、および/もしくは
- インデックスや構成銘柄情報作成時における誤謬または不正確

## セクション 2

# 運営・管理責任

## 2. 運営・管理責任

### 2.1 FTSE International Limited (“FTSE”)

2.1.1 FTSE は、インデックス シリーズのベンチマークの管理者です。<sup>1</sup>

2.1.2 FTSE はインデックス シリーズの日次計算、構築、運用の責任を負っており、次のことを行います。

- インデックスを構成する全銘柄に関し、ウェイトの記録を保管する
- 基本ルールに従って、銘柄入替えとそのウェイト変更を行う
- 基本ルールに従って、インデックス シリーズの定期的なレビューを行い、その結果によって必要な変更を行う
- インデックスを配信する

### 2.2 基本ルールの改訂

2.2.1 基本ルールが指標シリーズの目的を最も適切に反映することができるよう、同ルールは FTSE Russell による定例見直し（少なくとも年 1 回）の対象になります。基本ルールの大幅な改訂の提案に関しては、FTSE Russell Advisory Committee 及び必要に応じその他の利害関係者との協議に付されます。FTSE Russell Index Governance Board は、これらの協議結果を踏まえ、改訂の承認を判断します。

2.2.2 FTSE Russell Fixed Income Indexes の Statement of Principles に規定の通り、基本ルールに言及されていない、または具体的かつ明確に規定されていない事項に関して FTSE Russell が決定を下す場合、Statement of Principles に則って実際的な決定を行うものとします。上記の様な決定が行われた場合、FTSE Russell はその決定内容を速やかに公表します。また、上記の取扱いが、基本ルールの例外、変更、将来の前例などに見做されない場合においても、FTSE Russell は、基本ルールをより明確な規定にするための改訂が必要かどうかを検討します。

<sup>1</sup> 本文書でアドミニストレーターという言葉は、金融商品と金融契約のベンチマークとして用いられる指標、または投資資金のパフォーマンス測定を行うことに関する、[2016 年 6 月 8 日付けの欧州議会ならびに欧州連合理事会による規制\(欧州連合\)2016/1011\(欧州ベンチマーク規制\)](#)、また、[ベンチマーク\(改正および経過規定\)\(EU 離脱\)規則 2019\(英国ベンチマーク規則\)](#)における定義と同義で使用されます。

## セクション 3

# FTSE Russell インデックス ポリシー

## 3. FTSE Russell インデックス ポリシー

基本ルールは、以下のリンクからご覧いただけるインデックス ポリシー文書と併せてご参照下さい。

### 3.1 お問い合わせと苦情

FTSE Russell の苦情申し立て手続きは、次のリンクからご覧いただけます。

[FTSE Russell Benchmark Determination Complaints Handling Policy.pdf](#)

### 3.2 FTSE Fixed Income Indices の Statement of Principles (Statement of Principles)

インデックスは市場の変化に対応する必要がある一方、基本ルールはすべての事態を予測することはできません。基本ルールが特定の事象または変化を十分にカバーしていない場合は、FTSE Russell は、インデックス構築に対する FTSE Russell の基本的考え方をまとめた FTSE Fixed Income Indices の原則声明 (Statement of Principles) を参照して適切な取り組みを決定します。Statement of Principles は毎年見直され、FTSE Russell により提案される変更事項は FTSE Russell Policy Advisory Board に提出後、議論され、最終的には FTSE Russell の Index Governance Board により承認されます。

Fixed Income Indices の原則声明 (Statement of Principles) は、次のリンクからご覧いただけます。

[Statement of Principles Fixed Income Indices.pdf](#)

### 3.3 再計算方針とガイドライン

FTSE Russell 再計算方針および債券インデックス・ガイドラインは、次のリンクから FTSE Russell のウェブサイトで御覧いただくか、[info@ftserussell.com](mailto:info@ftserussell.com) までお問い合わせください。

[Fixed Income Recalculation Policy and Guidelines.pdf](#)

### 3.4 FTSE Russell のベンチマーク・メソドロジーの変更

FTSE Russell のベンチマーク・メソドロジーの変更は、次のリンクをご参照下さい：

[Policy for Benchmark Methodology Changes.pdf](#)

### 3.5 FTSE Russell のガバナンスの枠組みからご覧ください。

3.5.1 FTSE Russell はそのインデックスを監督するために、プロダクト、サービス、テクノロジーのガバナンスをカバーするガバナンス・フレームワークを採用しています。このフレームワークには、ロンドン証券取引所グループによる防衛リスク管理フレームワークの 3 つの防衛線が組み込まれており、金融ベンチマークの IOSCO 原則<sup>2</sup>および欧州ベンチマーク規則への準拠を確実にしています<sup>3</sup>。FTSE Russell ガバナンス・フレームワークの詳細は、次のリンクをご参照下さい：

[FTSE\\_Russell\\_Governance\\_Framework.pdf](#)

---

<sup>2</sup> IOSCO Principles for Financial Benchmarks Final Report, FR07/13 July 2013

<sup>3</sup> 有価証券および金融契約、また投資ファンドのパフォーマンス測定にベンチマークとして使われるインデックスにおける 2016 年 6 月 8 日付けの欧州議会ならびに欧州連合理事会による規制（欧州連合）2016/1011

## セクション 4 計算前提と組入基準

### 4. 構成と設計基準

- 4.1 FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）（“インデックス”）は、FTSE 世界国債インデックス－国内投信用（WGBI-JIT）内のドイツ国債のパフォーマンスを測定します。
- 4.2 このインデックスは、日本の投資信託によるパフォーマンス評価のベンチマークとして機能するように設計されています。計算の前提は、社団法人投資信託協会の評価方式に基づいています。
- 4.3 WGBI-JIT の設計基準や算出に関する前提条件の詳細については、以下のリンクからアクセスできる FTSE Fixed Income Index Guide をご参照ください。 [FTSE Fixed Income Index Guide](#)
- 4.4 FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）の設計基準と算出に関する前提条件

クーポンの種類	固定利付
最低残存期間	1年以上
最低残存金額	25 億ユーロ
ウェイト	時価総額
リバランス	月次更新（月末時点）
キャッシュフローの再投資	利子と元本償還による月間のキャッシュフローは、月間のインデックス・トータルリターン計算において再投資されることはありません。 <sup>4</sup>
価格付け	現地市場の前日終値、LSEG Pricing Service 午後 4 時 15 分（ロンドン）
為替レート	日本時間午前 10 時における三菱 UFJ 銀行の対顧客直物電信売買相場の仲値（TTM）。日本時間 <sup>5</sup>
算出の頻度	日次
受渡日	月次：暦上の月末 日次：当日受渡し。ただし、月の最終営業日だけは暦上の月末とする
採用銘柄確定日	翌月の採用銘柄は採用銘柄決定日に固定。各年の採用銘柄決定日はウェブサイトに掲載
基準日	2005 年 12 月 31 日

<sup>4</sup> 2022 年 11 月 1 日より前には、トータルリターン計算に再投資収入分が含まれていました。

<sup>5</sup> LSEG Pricing Service の相場は、MUFG 銀行のクォートが利用できない期間中の通貨に使用されます。

## 4.5 時価総額の算出

4.5.1 計算式には以下の表記を用います。FTSE 世界国債インデックス(WGBI)および WGBI-JIT の表記は、両インデックスのドイツ国債セクターの各個別債券のリターンと分析を示しています。

表記	
t	分析日
m	分析月
e	前月末営業日
P_WGBI	WGBI クリーン ブライズ
A_WGBI	WGBI 経過利子
P_WJIT	WGBI-JIT クリーン ブライズ
A_WJIT	WGBI-JIT 経過利子
WGBI_PAR	WGBI 額面
WGBI_MODDUR	WGBI 修正デュレーション
WGBI_RORP	WGBI 日次元本収益率
WGBI_MTRORP	WGBI 月初来元本収益率
WGBI_MTRORI	WGBI 月初来利金収益率
WGBI_HGAMT	WGBI ヘッジ額
WJIT_RORP	WGBI-JIT 日次元本収益率
WJIT_MTRORP	WGBI-JIT 月初来元本収益率
WJIT_MTRORI	WGBI-JIT 月初来利金収益率
WJIT_MTRORT	WGBI-JIT 月初来総合収益率
WJIT_HGAMT	WGBI-JIT ヘッジ額

4.5.2 WGBI については、全構成銘柄の前月最終営業日の価格と経過利子を用いて当月のインデックス概要の時価総額を算出します。WGBI-JIT については、前営業日の価格が適用されます。

$$WJIT\_MKV(m)=(P\_WJIT(m)+A\_WJIT(m))\times WGBI\_PAR(m)=(P\_WGBI(e-1)+A\_WGBI(e))\times WGBI\_PAR(m)$$

4.5.3 時価総額を日本円に換算する際の為替レートには、三菱 UFJ 銀行が提供する TTM（テレグラフィック・トランスファー・ミドルレート）が使用されます。

$$WJIT\_MKV(m)_{JPY}=WJIT\_MKV(m)\times FX\_SPOT(e)$$

#### 4.6 リターンの算出

4.6.1 日本円以外のセクターの収益率は、前日の元本収益率と当日の利金収益率を用いて修正計算します。

#### 4.6.2 現地通貨ベース WGBI-JIT の月初来トータル収益率

##### ステップ 1: 第 1 営業日の元本収益率を計算

WGBI-JIT の構成銘柄の第 1 営業日の元本リターンは、WGBI-JIT の算出で利用されるため、最初に算出されます。WGBI/WGBI-JIT の既発債については、初日の元本リターンを月末 2 営業日前の WGBI 価格と経過利子を用いて算出します。

$$WJIT\_RORP(1) = \frac{P\_WGBI(e) - P\_WGBI(e-1)}{P\_WGBI(e-1) + A\_WGBI(e)} \times 100$$

WGBI/WGBI-JIT に新たに追加された債券については、初日の元本リターンは、それぞれ WAL（加重平均寿命）に最も近い債券の WGBI-JIT 元本リターンを基に算出されます。これらの WGBI-JIT の元本リターンは、修正デュレーションの違いを考慮し、デュレーション・レシオで調整されています。

$$WJIT\_RORP(1) = WGBI\_RORP_{CLOSEST(1)} \times \left( \frac{WGBI\_MODDUR(m)}{WGBI\_MODDUR_{CLOSEST(m)}} \right)$$

##### ステップ 2: 月初来元本収益率を計算

月初来の元本収益率は、前日の WGBI\_MTDROP と第 1 営業日の WJIT\_RORP のリターンを累積して複利で計算します。これは、実質的に、全ての証券の価格を 1 日ずらすことに等しくなります。

$$WJIT\_MTDRORP(t) = WJIT\_RORP(1) + WGBI\_MTDRORP(t-1) \times \left[ 1 + \left( \frac{WJIT\_RORP(1)}{100} \right) \right]$$

##### ステップ 3: 月初来利金収益率を計算

月初来の利金収益率は、月初における当月の時価に基づいて計算します。最初の営業日の元本収益率で調整します。

$$WJIT\_MTDRORI(t) = WGBI\_MTDRORI(t) \times \left[ 1 + \left( \frac{WJIT\_RORP(1)}{100} \right) \right]$$

##### ステップ 4: 月初来トータル収益率を計算

月初来のトータル収益率は WGBI-JIT の月初来元本収益率と月初来利金収益率の合計です。

$$WJIT\_MTDRORT(t) = WGBI\_MTDRORP(t) + WJIT\_MTDRORI(t)$$

#### 4.6.3 円ベース WGBI-JIT の月初来トータル収益率

WGBI-JIT では、WGBI と同一の算出方式を用いて現地通貨リターンから円ベース・リターンを計算します。為替レートには、三菱 UFJ 銀行が提供する TTM（テレグラフィック・トランスファー・ミドルレート）が使用されます。TTM レートが利用できない場合は、LSEG Pricing Service レートが使用されます。

$$WJIT\_MTDRORT(t)_{JPY} = \left\{ \left[ 1 + \left( \frac{WJIT\_MTDRORT(t)_{LCL}}{100} \right) \right] \times \left[ 1 + \left( \frac{CRCY\_RTN(t)_{TTM}}{100} \right) \right] - 1 \right\} \times 100$$

#### 4.6.4 ヘッジ額の算出

WGBI-JIT のヘッジ額の算出は、FTSE 債券インデックスガイドで定義されている標準的なインデックス手法に従います。

1. 当該債券の額面から減債資金の返済、コール、期限前償還などの額を控除します。
2. 1 で減らした残高と、期末までこれらを再投資した再投資利益を合計します。
3. 期中に支払われるクーポンを再投資収益とともに追加します。
4. 月初の利回りが不変という前提で、期末日を決済日として算出された債券価格と経過利息により、保有証券の時価総額を評価します。
5. 上記 2、3、4 の合計が先渡為替取引によりヘッジされる想定ヘッジ部分となります。
6. この金額は、適切なフォワードレートで基準通貨に戻されて「想定ヘッジ値」になり、通貨ヘッジされた基準通貨建ての期末値の主要な構成要素になります。

なお、ステップ 4 では、WGBI-JIT で使用する月初利回りは月末最終営業日の前営業日の WGBI で使用された利回りとします。新たに WGBI に追加された債券については、WGBI のヘッジ金額は、第 1 営業日の WGBI-JIT 元本リターンにより調整した WGBI-JIT のヘッジ金額を基に算出します。

$$WJIT\_HGAMT_{(t)} = WGBI\_HGAMT_{(t)} / [1 + (WJIT\_RORP_{(t)} / 100)]$$

#### 4.6.5 円換算での月初来リターン(ヘッジ)

WGBI-JIT を円建て（ヘッジあり）リターンで計算するために、TTM のスポットレートの公表タイミングと一致するフォワードレートを使用しています。

$$WJIT\_MTDRORT_{(t)JPY\_HEDGED} = WJIT\_MTDRORT_{(t)JPY} + \{[WJIT\_HGAMT_{(t)} \times (FX\_FWD_{(e,t)} - FX\_SPOT_{(t)})] / WJIT\_MKV_{(m)JPY}\} \times 100$$

なお、月内フォワードレートは、フォワードレートの期間構造から導き出すのではなく、前月末のスポットレートと 1 ヶ月のフォワードレートから線形に補間されます。

#### 4.6.6 現地通貨建ておよび日本円建ての日次トータルリターン

日次トータル収益率は、当日と前日の月初来収益率を用いて計算します。

$$WJIT\_RORT_{(t)} = \{[(1 + WJIT\_MTDRORT_{(t)} / 100) / (1 + WJIT\_MTDRORT_{(t-1)} / 100)] - 1\} \times 100$$

$$WJIT\_RORT_{(t)JPY} = \{[(1 + WJIT\_MTDRORT_{(t)JPY} / 100) / (1 + WJIT\_MTDRORT_{(t-1)JPY} / 100)] - 1\} \times 100$$

$$WJIT\_RORT_{(t)JPY\_HEDGED} = \{[(1 + WJIT\_MTDRORT_{(t)JPY\_HEDGED} / 100) / (1 + WJIT\_MTDRORT_{(t-1)JPY\_HEDGED} / 100)] - 1\} \times 100$$

#### 4.7 為替レート

- 4.7.1 日本時間午前 10 時における三菱 UFJ 銀行の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)。\*\*\*LSEG Pricing Service の相場は、三菱 UFJ 銀行のクォートが利用できない期間中の通貨に使用されます。

#### 4.8 改編履歴の概要

FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）の構築は、FTSE 世界国債インデックス – 国内投信用と同じイベントによって決まります。

#### 4.9 FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用）

ティッカー	インデックス
CFIIDJY	FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用、円ベース）
CFIIDJYC	FTSE ドイツ国債インデックス（国内投信用、円ヘッジ・円ベース）

## 付録 A

# 追加情報

---

FTSE Russell の基本ルールで使用される用語については、次のリンクをご参照ください。

[Glossary of terms FTSE Fixed Income.pdf](#)

お問い合わせについては、FTSE Russell ウェブサイトにアクセスいただくか、または FTSE Russell クライアントサービス [info@ftserussell.com](mailto:info@ftserussell.com) にお問い合わせください。

ウェブサイト: [www.lseg.com/en/ftse-russell/](http://www.lseg.com/en/ftse-russell/)

## Disclaimer

© 2025 London Stock Exchange Group plc およびその該当するグループ企業（「LSEG」）。LSEG には、(1) FTSE International Limited（以下「FTSE」）、(2) Frank Russell Company（以下「Russell」）、(3) FTSE Global Debt Capital Markets Inc.（以下「FTSE Canada」）、(4) FTSE Fixed Income LLC（以下「FTSE FI」）、(5) FTSE (Beijing) Consulting Limited（以下「WOFE」）が含まれます。無断複写・転載を禁じます。

FTSE German Government Bond Index- JIT インデックスの算定は、FTSE International Limited により、または同社に代わりその提携事業者、エージェント、パートナーによって行われます。FTSE International Limited は、ベンチマーク管理者として Financial Conduct Authority から認可を受け、規制を受けています。

FTSE Russell®は、FTSE、Russell、FTSE Canada、FTSE FI、WOFE、その他 LSEG ベンチマークおよび指標サービスを提供する LSEG 関連会社の商標です。「FTSE®」、「Russell®」、「FTSE Russell®」、「FTSE4Good®」、「ICB®」、「WMM™」、「FR™」、その他本資料で使用される商標およびサービスマーク（登録されているか否かは問わない）は、LSE グループの該当メンバーまたはそのライセンサーが所有または許諾する商標およびサービスマークです。

情報は情報提供のみを目的として提供されるものです。本資料に記載されている全ての情報及びデータは、LSEG が正確かつ信頼できると考える情報源から入手したものです。ただし、人的ミスや機械の誤作動、その他の要因による誤りの可能性があるため、当該情報及びデータはすべて「現状のまま」提供されており、これらの不正確性に対してはいかなる保証もいたしません。LSEG のメンバーまたは各取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーのいずれも、情報の正確性、適時性、完全性、市場性、または FTSE Russell の商品（インデックス、データとアナリティクスを含むがこれらに限定されるものではない）の使用から得られる結果の正確性、適時性、完全性、市場性、あるいは特定の目的に対する FTSE Russell 商品の適切性または適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる主張、予想、保証、表明も行いません。情報を利用するユーザーは、情報の何らかの使用による、また情報使用の許可によるリスクのすべてを負うものとします。

LSEG メンバーまたはその取締役、役員、従業員、パートナー、ライセンサーは、以下の事項に関して一切の責任または義務を負いません： (a) 当該情報またはデータの調達、収集、コンパイル、解釈、分析、編集、転記、送信、通信もしくは提供に関わる不正確性（過失の有無を問わない）、その他の状況、または本資料または本資料へのリンクの使用に関連する損失又は損害（全部又は一部を問わない）および、(b) たとえ LSEG のメンバーがかかる損害の可能性について事前に知らされていた場合であっても、当該情報の使用または使用不能から生じるいかなる直接的、間接的、特別、派生的または付随的損害。

LSEG のメンバーまたはその役員、役員、従業員、パートナー、またはライセンサーのいずれも、投資アドバイスを提供しておらず、本資料のいかなる部分も、金融または投資アドバイスを構成するものとみなされるべきではありません。LSEG のメンバー、その取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーは、いかなる資産への投資の是非、あるいはかかる投資が投資家にとっていかなる法的リスクまたはコンプライアンス上のリスクを生じさせるか否かに関しても、いかなる表明も行いません。このような資産への投資を決定する際には、本資料に記載された情報に依拠すべきではありません。インデックスおよびレポートに直接投資することはできません。インデックスやレポートへの資産の組み入れは、当該資産の売買や保有を推奨するものではなく、また、特定の投資家が当該資産や当該資産を含むインデックスやレポートを合法的に売買や保有することができることを確認するものではありません。本文書に掲載されている一般的な情報は、法律、税務、投資に関する専門的な助言を得ることなく使用されるべきではありません。

この情報のいかなる部分も、LSEG の適切なメンバーの書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、複写、録音、その他いかなる形式、手段によっても、複製、保存（検索可能なシステムによる保存）、または送信することを禁じます。LSEG データの使用および配布には、LSEG および/またはそのライセンサーからのライセンスが必要です。